

## 手づくり活動の楽しさ すばらしさ(3)

浜本昌宏

### 子どもからのプレゼント

海外旅行をしたときのことです。

隣の座席の方が、嬉しそうに、「これ、孫がつくってくれましてね」と、首に下げたかわいらしいペンダントを見せてくださいました。

「お守りのようなものですがね」との言葉の中に、家族の温かい絆を感じたものです。

ある園では毎年のように、お家の方へのプレゼントとして紙粘土でネックレスやペンダントを子ども達がつくっています。手馴れていることもあって見事です。

つくり方は簡単。紙粘土を小さく丸めたり、伸ばしたり、たたくて薄くしたものをハサミで切ったり、いろいろな形をつくり、乾いたところで着色し、模様を描いた

りします（ポスカなどの色彩マーカーで）。

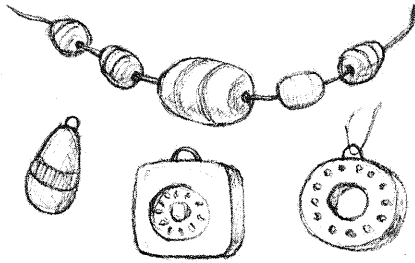
模様は自由に描きます。子どもらしさやハットするよ  
うな見事なものが必ず生まれます。

図のように球状のものには、竹串などで紐通しの穴を  
開けておき、ペンダントの場合は、ゼムクリップの中に

埋め込み、頭部にすこしのぞ  
かせておきましょう。

彩色もよく乾いたらつや出  
しのスプレーをかけます（画  
材店にあり）。紐は、いろん  
な種類がありますので、選ん  
でください。

輝くプレゼントの出来上が  
り。紙袋に包み、お手紙を添  
えて、渡しましょう。



さあ、園の行事などで、参観に来られた、お家の方の  
首や胸に、子どもの作品が輝いていると、みんな大喜  
び。親どうしも会話が弾むでしょう。  
(元三重大学)